



【写真左から】寺門友子さん、佐藤美智子さん、石井謙蔵さん、大堀利之さん、茂又速史さん、山田村長



東 海ぶらら俱樂部が石仏・石塔に関する本を制作 『東海村の石仏・石塔(令和版)』刊行記念

5月1日、住民団体「東海ぶらら俱樂部」が山田村長を表敬訪問し、『東海村の石仏・石塔(令和版)』の完成と刊行を報告しました。この本は、同団体が約8年かけて村内を調べ歩き、どこにどんな石仏・石塔があるのかをまとめたものです。これにより、村内には600基以上もの石仏・石塔があることが明らかになりました。『東海村の石仏・石塔(令和版)』は3月に完成し、歴史と未来の交流館で1冊あたり1,000円で販売していますので、ぜひこの本を見ながら村を散策してみませんか。道端の小さなお地藏様や牛馬供養塔、道標など新しい発見がたくさんあるはずです。

【写真左から】川崎代表取締役社長、平尾選手、山田村長



茨 城口ボッツの来シーズンB1継続が決定！ 「B.LEAGUE PREMIER」ライセンスも獲得

5月9日、村とフレンドリータウン協定を締結している茨城口ボッツの川崎篤之代表取締役社長と平尾充庸選手が、山田村長を表敬訪問し、来シーズンのB1継続と2026-2027シーズン「B.LEAGUE PREMIER」ライセンス獲得を報告しました。川崎社長は「1試合平均4,000人以上の来場者数を達成できたのも、地域の方やファンの支えがあったからです」と感謝を述べ、平尾選手は「来シーズンは勝ち切れるチームとなり、ファンに勝利で恩返ししたいです」と意気込みを話しました。今後も、村と茨城口ボッツは相互に連携・協力してさまざまな活動を展開していきます。



熱 戦！運動会でイモゾーリレー！ 小学校の運動会でイモゾーリレーを実施

5月24日に村内の小学校3校(白方小学校・照沼小学校・村松小学校)の運動会で、イモゾーリレーが行われ、熱戦が繰り広げられました。イモゾーリレーは、東海村スポーツ推進委員協議会が発案した、村の特産品であるほしをもテーマにしたリレー形式の完全オリジナルニュースポーツです。各学校ごとにアレンジも加えられていて、子どもたちが楽しそうにイモゾーファミリーのクッションを投げる姿や、元気いっぱい仲間を応援する姿が印象的でした。また、照沼小学校では1・2年生の親子競技として行われ、白熱するとともに、家族の絆がさらに深まる様子が伺えました。

